

読書のすすめ

土岐市図書館

☎1253

テーマ

自然科学

今回は自然科学の本を集めました。図書館の分類番号では4分類に該当する本です。普段はあまり読まない分野という方もいるかもしれませんが、意外と自分に合う本が見つかるかもしれません。



うえたに夫婦『ビーカーくんとそのなかまたち』

小学校、中学校の理科の実験で1度は使った事がある実験器具がキャラクターとなって紹介されています。名称や使い方はもちろん、壊れやすさや洗いづらさなどのグラフも載っていて、子どもの頃にうっかり壊して怒られた思い出などがよみがえる1冊です。



高柳雄一『ノーベル賞ずかん』

ノーベル賞受賞者たちの紹介とその研究のきっかけについて書かれている本です。物理学や化学賞のほか、6部門ごとにそれぞれの受賞へと至るエピソードを読むことができます。



五十嵐杏南『ヘンな科学』

この本はノーベル賞と比べるとちょっと笑ってしまうような研究が多いイグノーベル賞に関する本です。イグノーベル賞はノーベル賞のパロディーで、ignobleの意味「崇高さに欠ける」に由来しており、気楽に楽しめる内容です。

私は昔からこのようなシリーズ小説が大好きでした。300ページ以上あるような分厚い本でも、読み始めるとあっという間で、時間を忘れて読んでいたのを覚えています。普段小説をあまり読まない人も、是非一度この本を手に取り、本を読むきっかけにしたいだけです。



この本は、花街で薬売りをしていた猫(マオマオ)が、ある日突然、後宮の下女として働くことになってしまったところから始まります。主人公の名前から分かるように、古代中華をモデルに書かれた、ミステリー小説です。

この本の魅力は、個性豊かなキャラクターたちにあると思います。特に主人公の猫は、毒を幸せそうに食べるような変わり者ですが、後宮で起こる事件や謎を解決していく様子は圧巻で、ついつい何度も読み返してしまいます。

寄稿者募集
おすすめの1冊
教えてください

私の一冊

日向夏

薬屋のひとりごと



泉中学校3年
前川 もえさん

7月の休館日

休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

開館時間
▶火～金曜日
10:00～19:00
▶土・日曜日、祝日
10:00～17:00

※変更があった場合は、図書館HPやTwitterでお知らせします

お知らせ

- 多くの方に利用いただくため、7月1日(金)から8月31日(水)までに限り、利用冊数は1人1冊、期限は1週間となります。また、予約することはできません。ご理解ご協力をお願いします。
- 『ときし電子図書館』では、5月1日から雑誌閲覧サービスを開始しました。100誌以上のタイトルから好きな雑誌を読むことができます。▶電子図書館ホームページ

